

職員の皆さんへ

猛暑が続いた夏が終わり、早くも9月がスタートしました。来週から9月定例市議会が始まります。

今年も7月末の台風12号および8月25日の台風15号の襲来が予想されたことで、2度におよぶ災害警戒本部を設置し避難所への住民の受入れなど対応をしてまいりましたが、幸いにも甚大な被害に見舞われることなく一安心した次第です。しかし随所に農地災害なども見られており、一刻も早い復旧を望むところであります。

さて真夏の平戸観光の盛り上がりにつきましては、(株)JTB九州のご協力もあって、様々なマリンレジャーや平戸城および松浦史料博物館を舞台とするお化け屋敷など、平戸ならではの魅力ある体験メニューが高い評価を受けて、これら旅行商品に3千人を超える申し込みがあるなど予想以上の実績を収めることができました。

この期間、ご協力いただいた市民各位をはじめ灼熱の太陽のもとで真っ黒に日焼けしながら懸命な対応を献身的に実践してくれた関係職員におかれては大変お疲れ様でした。なおこのプログラムは9月末まで続きますので、健康に留意しながら頑張っていたいただきたいものと期待しています。

さて来年の世界遺産登録が確実視されている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、先週28日には市民の会による総決起大会が意義深く開催され、JTB九州の古田社長の講演「地域の宝を活かしたツーリズム」は、キリスト教関連のみならず本市が受け継いできた様々な地域資源を磨きなおして世界に発信すべき重要な使命を共有できた意義ある提言でした。これを機に、市民一丸となって平戸を愛する多くの方々との連携を緊密にし、「平戸固有の文化力」をさらに発揮して交流人口の増大や人口減少へ歯止めをかける施策に邁進していきたいと決意を新たにしています。

そして8月20日に開催しました平戸市子ども議会は相変わらず若い世代の瑞々しい感性と鋭い観察眼に感銘しました。幾つもの具体的な提案の中から市民に真に必要なとされる事業についてはできる限り予算化するなどの対応をしていきたいと考えています。ご指導いただいた各学校の校長はじめ教職員の先生方に感謝しながら、これからもこの事業を継続してまいります。

それから鄭成功のご縁で友好交流をしています中国福建省の南安市から中学生の卓球チームをお迎えしてスポーツ交流を深めることができました。

卓球大国である中国のレベルの高さに堂々と立ち向かい見事な成績を上げることでできた本市中学生の技能の高さに改めて賞賛を送りたいと思います。

また平戸市と南安市の友好交流締結20周年の節目に大変意義ある交流ができたこと、とりわけ次世代につながる若い子どもたちのスポーツ交流は今後も大

いに期待できることだと実感しました。卓球に限らず他のスポーツや文化部の活動などにおいてもその可能性を探ってみたいと思います。

秋は何をやるにも最適の時期です。「読書の秋」は未来創造館、「スポーツの秋」はライフカントリーはじめ各施設、「食欲の秋」は平戸和牛フェアをはじめ市内のグルメを提供する各店舗で楽しむことができます。そして「音楽の秋」は 9 月 12 日に平戸オランダ商館において、オランダで活躍する著名なアーティストをお迎えして行なわれる「Dutch Jazz In HIRADO」、また引き続いて翌 13 日には第 2 回目となる「平戸 DISCO」が平戸大橋公園で開催されます。こうした音楽の祭典は、平戸ならではの違った角度から発信できる魅力だと思いますし、これら世に名を馳せた逸材が平戸市に集結することで一層文化の厚みが増し、交流人口や定住人口の増大につながるものと確信しています。いずれも民間活力の表れであり、こうした活動をしっかりと支援していきたいと思います。

さていよいよ 10 月 1 日には、平戸市市制施行 10 周年の記念式典を執り行います。

市内外から 500 人を超える多くのお客様をお迎えして盛大に開催することで職員各位にもそれぞれの持ち場で油断なく準備を進めていただいています。特に当日は、かつて平戸市政に多大なる功績を遺された方や今もなお本市の振興に多大なご貢献をいただいている方々に感謝状を贈呈することとしています。

また式典のみならず、その後のレセプションなどでは中央省庁からも本市に関わりの深い要職の方々および各地の物産開発や観光振興に携わる方々が多数お越しになる予定となっています。

本市の歴史に刻む大きな節目として市民の総意をもって盛大にお祝いをしたいと思いますので、関係職員におかれては各課連携のもと万全の態勢で成功に導いていただきたいと思います。

さて来週 7 日から始まる 9 月市議会でご審議いただく予定の補正予算のほか、再生可能エネルギーを活用した離島活性化基金の創設などの関連議案に加え、平成 26 年度決算認定議案などもあり、これまで取り組んできた各種事業の成果が問われる重要な議会となりますので、各課とも緊張感をもって審議に臨んでいただきたいと思います。

引きつづき様々な分野において市民と協働し、文字通り「稔りの秋」となりますようともに頑張ってまいりましょう。

職員皆様のご努力に期待します。

平成 27 年 9 月 1 日

平戸市長 黒田成彦